

12.

8.4

8

8

4

3-1157

0442

文書課
第30號
15.5.18.

門類
項
號

歐米局長
歐米局第一課

通商局第二課

通商局 第二課

送込名
七割送込

15.5.21

公第 三 一 號

通商局長 大正十五年四月十五日

大正十五年五月廿四日記録保管

在オデッサ

領事佐々木靜吾

外務大臣 芳澤謙吉 閣下 殿

本邦至南事情紹介の函件

南事情紹介の函件、經濟事情、南の知識、欠乏、鑑
に記す又（南文書）を草に在る地内外商業代表、ローソ
氏、代表に送る、南文書、南文書、南文書、南文書、南文書、
代表、代表、代表、代表、代表、代表、代表、代表、代表、代表、
中央政府、南地、代表、代表、代表、代表、代表、代表、代表、
トルコ、外國、南地、代表、代表、代表、代表、代表、代表、代表、
在オデッサ日本領事館

小文、全然無効、南文書、南文書、南文書、南文書、南文書、

一日、南文書、南文書、南文書、南文書、南文書、南文書、

日本、南文書、南文書、南文書、南文書、南文書、南文書、

(譯文)

日本「ワシントン」聯邦通商關係

「ワシントン」聯邦一九二二年六月十五日條約

一九二二年一月二十日、日蘇同盟、調印セラレタル條約ハ、約イケル間、中新セシ兩國々々、爲、廣キ道ヲ開ケリ。」「ワシントン」聯邦ノ革命、同國ノ政治至濟ニ多大ニ教化ヲ來タシ、同國ノ交通、同國ノ交通、新舊ノ露國ノ革命前、列國トノ間、相シテ通商條件、同國ノ外、變更セリ。他方、於テ日本ニ亦大ニ教化シ、其ノ結果、列國ノ外、至貿易ニ異常ノ進歩ヲ來セリ。茲ニ此ヲ余リ、日本現時ノ至濟狀態ヲ紹介シ、日蘇兩國間ノ交通關係、復日ノ兩國市場、完全ナル研究、並ニ「ワシントン」聯邦ノ利益ヲ揭示セントス。日本、漸次農業國ヨリ工業國ニ轉化シ、アリ、之結果、大陸ニ至、モノニシテ人口ニ急速ニ増進シ、最近統計、日本所引、依レハ、日本

在オランダ日本領事館

人口ハ八千萬人ニ達セリ、斯レテ同國ノ工業ニ進歩發達シ、一九二五年ニ、同國ノ需要ヲ充テシ、上尙ニ十三億、五百萬円(百萬円、昨年未ノ相場、四十圓中ナリトス)ヲ輸出セリ。日本ノ外國貿易、如何ニ進、發展セリ、尤、獨リ統計、之ヲ窺フコトヲ得(之ニ年次	輸出利便格(單位百萬円)
一九二〇年	四五七
一九一〇年	二〇四
一九一五年	四五八
一九二〇年	七〇八
一九二五年	一九四八
一九二五年輸出ノ至ニ商品、尤、如シ	二五〇五
生糸(八億、千、五百萬円)	
絹織物(一億、千、七百萬円)	

ソウイート、餅、和ノ生産品、シテ日本市場カ多量ニ消化シ得ヘシ
トスル貨物ヲ左ニ摘記スル

一九二一年日本輸入品

品名	價額(單位千円)
麦	一七五七
豆	一四三ハ
大麻子	一三七ハ
砂糖及其製品	六四六六二
葡萄酒	一九一〇
コンパンスミル	五七四九
塩	三ハ四九
煙草及其製品	一七五四八
皮革	一六、三〇五
豚毛	一ハ〇
牛脂	六九九三
原油	一三、〇四七
ベンジン	一七、四五八
燈油	一四、一四四
ホンプ	一、二八五
樹脂	二、五三〇
曹達	ハ、四一五
羊毛	ハハ、〇三九
亞麻、大麻	二五、三八六
製紙用パルプ	一〇、六二二
アスベストA製品	二、〇九〇
鑄鉄	二、三、〇ハ七

在オランダ日本領事館

鉄及其製品	一〇、六八九
木材(松及樅)	一一九、七九九
油粕(菜子糖)	七、〇八七
骨粉	四、四六二
之等、商賣に關する「リポート」聯邦市場、豐收にテ輸出し得ルモノナリ	
日本より輸出せる貨物中「リポート」聯邦に取リテ有利ナルモノ頗多シ即チ製鉄(一九三四年中輸出額一、二七八、三九四) 寒天(四、五四三) 樟腦(六、九一八) 薄荷(七、八一三) 木炭(二、四八五) 鉛筆(四、〇六六) 絹及木綿織物(四、五五二) 漢用(三七二) 鉛(八、六九八) 紙類(二〇、八四三) 玻璃鏡(五、六二二) 醫療及理化學機械(九、一五) 自動車タイヤ(二、三三八) 紡績及機械(三、五八九) 纖維製品(九、一五)	
電球(一、八二九) 等ナリ	
此等商賣ノ交換ヨリ相互に政治的及經濟的、接近シテ兩國以テ日常生活ノ利益ヲ共有シ、屋宇建築シテ且テ有利ナル連鎖ヲ發見シ將來相互ニ市場ノ巨細ニ研究スルに從ヒ兩國ノ貿易ハ輸出入關係、於テ利用セシ多種多様ノ天產物ト加工品ト相互的ニ双方ヨリ供給セシ完全、多方向ニ國民生活ノ要求ヲ満足セシに至ヘシ「リポート」聯邦、デール・レー、萊恩即チ政治的國交ノ開始、亦ハ全然兩國ノ親善事業ノ現実、定メテリテ得ル政治經濟關係ヲ果シテ兩國國民結合ニ紙上ノ條約ヲ越シテ兩國國民協同シテ經濟的、共同ニ實益ノ上ニ立テ相互に信用シ信頼スルに至リ故メテ眞實ノ友好關係ヲ生ズルモノナリ	

在オデッサ日本領事館

(譯文)

日本ノ商船

大正十一年四月十二日稿

日本ノ商船ハ米國及英國次ニ世界列國中第三位ニ在リテ
其ノ噸數現時三百八十萬噸ニ達シ自國内外市場ノ要求ニ應ジ
得ルニシテ今や日本船ヲ世界各地ノ海上ニ活動シ他國商船
ト競争シテ逐年其ノ輸送貨物ノ數量ヲ増加シ居レリ然レモ
革命後ソビエト聯邦ノ外國船噸數統計表中日本船カン
ワイエト聯邦船ト商上ノ位置ノ爲メ佛船ニ見エ今ヤソビ
エト聯邦ノ外國貿易ノ擴大セリ自國船噸數不足ノ爲メ外國
船佛船ハ其ノ運送ニ際シ日本商船隊ノ輸送力ヲ面報シ外
國貿易部ノ以テ商船ニ對シ注意ヲ喚起スルニ當リ當時機
ト思ヒ、日本佛船協約ノ締結ハ一ニ應フテ其佛船便ト

在オデッサ日本領事館

条件ノ有利ナルニテ明白ナルニテ佛船商事者カ倫敦ニ在リ日
本商船會社ノ支店ト取引ヲ開始スル其ノ結果トシテソビエト聯邦
内港灣ニ日本船船ノ出現スルに至リ而テ日本商船隊ノ活動シ
テ交通商關係助長ノ大ニ取ツルニシラス日本商船隊ハ世界
佛船市場ニ單位ニテ其ノ競争ニ參加スルニ失シ自負力ニシテ
ソビエト聯邦ノ外國貿易ノ爲メ有利ナルニテ應フハ餘地ナシ

日本汽船會社大正十一年ノ如シ

社名	所有船隻數	合計噸數	調査年
日本郵船會社	一三九	八〇二、三三三	一九二五年
大日本郵船會社	二〇二	五〇〇、九〇九	一九二三年
三國汽船會社	一〇二	七九八、六六九	一九二五年
四山汽船會社	一五	八一、五五〇	一九二五年

前表中最初二流船會社兼客貨及貨物ヲ輸送スル定期船

海に從事シ其他ノ汽船會社所屬船ニ悉ク貨物船ナリ
就中國際汽船會社ハ米、伊、並ニ米、獨ノ航海ニ從事
シ同航路中ノ主要ナル地位ヲ占メ居リ

其の各汽船會社ト取引シ場合ニ本邦ニ在リ本社ト通信スル
必要ヲ認メズ 此等汽船會社ハ悉ク倫敦ニ其ノ各支
店ヲ有セス 其ノアドレスヲ列ス

一日本郵船會社 略号 N.Y.K.

「アドレス」 4 Abchurch Lane, London E.C. 4
電信「アドレス」 Queen's, London

二大坂商船會社 略号 O.S.K.

「アドレス」 25-27 Bishopsgate, London, E.C. 2
電信「アドレス」 Overseas, London

三國際汽船會社 K. Line

在オランダ日本領事館

「アドレス」 Baltic House, 27, Leadenhall St,
London E.C. 3

電信「アドレス」 Kuhnert, London
四山下汽船會社

「アドレス」 27, Cheekwall Lane, London E.C. 3
電信「アドレス」 Yamashita, 27, London

(以下國際汽船會社及山下汽船會社所有汽船
名、噸數、航路ヲ略ス)

門3
期4
頁2

通商局 第二課

公第一〇形

大正十五年五月四日

在漢堡

昭和二年三月九日 記録係接

總領事川島信太郎

通商局第二課

情報部

第三課

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

本邦経済状況宣傳用印刷物ニ関スル件

最近ノ経済復活の努力ニ伴ヒ特ニ東洋方面ニ對スル經濟事情ニ関シ適當ノ指針ヲ求ムル者多ク右ニ對シ從來當館ニ於テ本邦商況ニ関スル貴商會其他ニ各當館事、商工団体、新聞雜誌社、關係有力実業家商社等可然方面ニ配布シ本邦經濟事情ノ宣傳ニ努メ吾ノ今後更ニ此方面ニ努力スルハ兩國貿易ノ

外務省文書課
受第 21 號
15.5.28

要再回

在漢堡帝國總領事館

増進上甚々有效ナリト認メラレニ在テ近着左記印刷物等ノ如ク此種目的ニ適合スル英文發行物ニ其ノ部ヲ發行所ヨリ直接又ハ本邦ニ於テ御取寄ノ上丁及的多数(サントニ三十部以上四十部)配布ニ要スル郵費ト共ニ御送附方御取計ニ預テ

記

Japan Maritime & Manufacturers' Directory: Annually.

農商務省發行ノ東京大坂等商業會議所發行

The Eastern Review: Monthly (在東京)上海發行

Commercial Guide: Quarterly Osaka Commercial Museum 發行

Japan Year Book

Present Day Japan (The Asiatic Shintan)

Expansion Handbook of the Manchurian Shintan

在外

(佐藤三郎)

在漢堡帝國總領事館



大正十五年六月二十九日

横濱商業會議所

齋藤外務省通商局長殿

横濱商業會議所

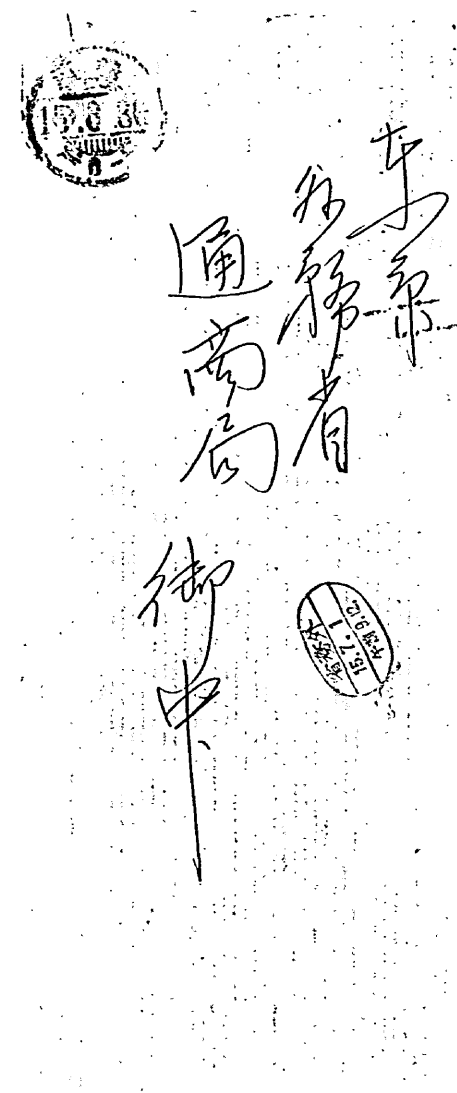


本邦經濟狀況紹介印刷物三件

拝啓右開レ三件付通ニ番通合第五一六号ヲ以テ御未示
ニ接レ候處政文ノモノ趣之タ先頃邦文横濱市商工要覽
数部川島總領事宛送付致候間右御含込御回報中
上候

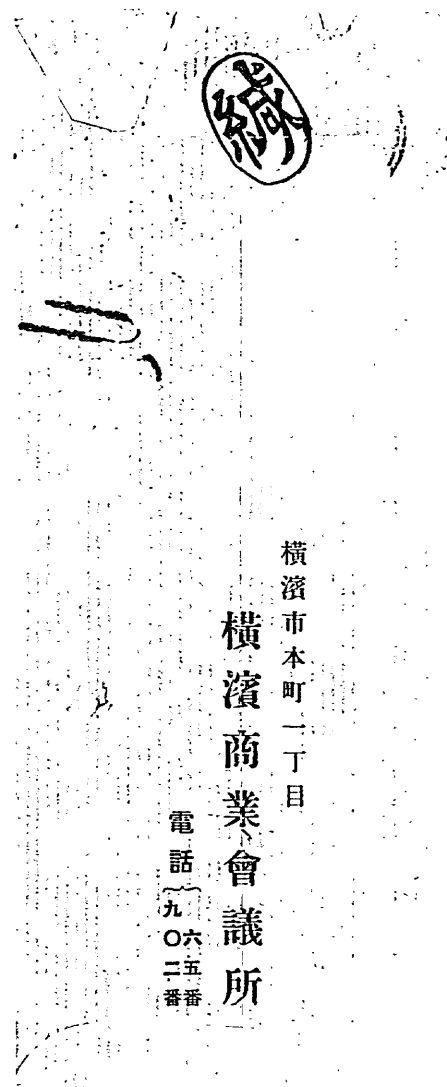
○大收社宛所附所後
○レリ宛中令可

昭文堂印



3-1157

0452



3-1157

0453

乙 號用紙 國納

限、右印刷物可及の多數（少クとも二十部
以上四十部）直接同館へ又、當省通商局
第一歸範御送付相成梯致、發向今後共斯
種政文印刷物御發行ノ際、其ノ都分右方
法ニテ送付方可然御配意相煩度シ

記

Japan Mercantile & Manufacturers' Directory.

外 務 省

乙 號用紙 國納

Annually.

（以上各商業會館所託ノ之ヲ入ノクト）

Commercial Osaka (通商彙報英支部)

（以上大阪府立商工陳列館所託ノ之ヲ入ノクト）

外 務 省

3-1157

0455

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

宛名別表

指田東京商會館所管款

濱田京都

稲田大阪

井阪横濱

熊島神戸

上遠野名古屋

山口大阪府立商會館所管

以上

外

以上

省

乙 宛用紙 (国納)

通
19.6.29

綴
11

大正十一年六月二十日
外務省通商局印
The Japan Mercantile & Manufacturers' Directory
右冊の御申越し、趣意は甚だ感佩に値し、右商工名録は
當所、刊行の俟たれども、此の如記箇所より、毎年新刊の
發賣を乞ひ、定價二部金拾圓より、内、表紙美先
古本取放の同答申上候。 敬具
極東廣告取次會
Far Eastern Advertising Agency, No. 16 Nee machi, Kobe.
Proprietor: Douglas Young.

神戸商業會議所



東京市

務省通商局御中

3-1157

0458



大正
十一年
五月
廿八日

神戸市東町二二六番(元居留地)

神戸商業會議所

電話三三

五三三三
三三三一
〇〇〇〇
〇〇〇〇
番番番番

3-1157

0459

カ
リ
年
の
日
本
人
勝
呂
孝
東京商會議所

3-1157

0460